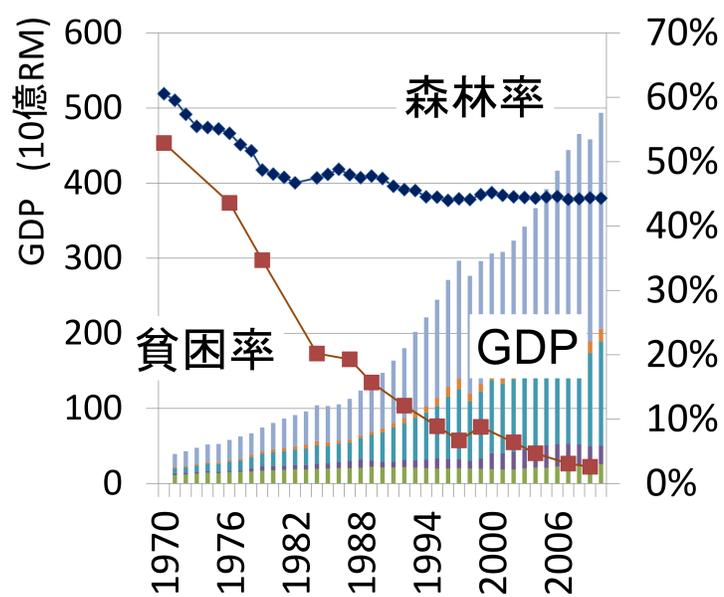


# 貧困対策は森林減少の解決に有効 — マレーシア半島部の調査から —

宮本 基杖、道中 哲也 (森林総研)

森林減少の問題解決には、それを引き起こす原因とともに、抑制する原因を明らかにする必要があります。本研究では、マレーシア半島部を対象に、森林面積、土地利用、林業、社会経済に関する長期データ(1970-2010)を用いて、統計モデリングを行い、森林面積変化の要因を特定しました。

## マレーシア半島部の森林率・貧困率・GDP



## 森林面積変化の要因

22変数を用いたモデル選択(AIC)の結果

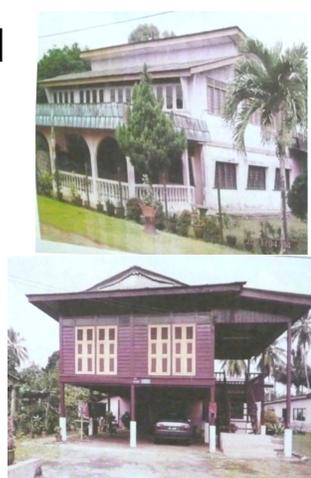
変数	森林面積への影響
貧困率	最も強い影響あり 森林面積変化の主要な根本的原因
油ヤシ面積	森林減少の主な直接原因であるが、 貧困率が大幅低下した後は影響弱い
人口、所得、GDP	影響は弱い

## 油ヤシ農園農村(FELDA)における住宅の変化

1967



2011



## 貧困削減の要因

21変数を用いたモデル選択(AIC)の結果

変数	貧困率への影響
油ヤシ面積	最も強い影響あり
木材輸出量	影響あり
合板生産量	影響あり

## 結論

1. 油ヤシ農園の拡大は、短期的に森林減少を引き起こしたものの、同時に農民の所得を向上させ、貧困率の低下に貢献しました。
2. 他の貧困対策も加わり、貧困率が大幅低下した結果、開拓のための農地需要が減り、森林減少の速度を長期にわたり減速させました。

3. これらの結果は、貧困削減が森林減少の抑制に有効であることを示す画期的な証拠であり、森林減少の解決策を検討する上で重要な知見です。

海外の共同研究者：  
モハマッド・ファリッド、ヌール・アイニ(マレーシア森林研究所)